

小 学 部

(1) 小学部の教育目標

- ① 健康な体と豊かな心を育てる。
- ② 身辺処理能力を高め、身辺の自立を図る。
- ③ 集団生活に参加する能力と態度を養う。
- ④ 最後までがんばる意欲と態度を育てる。

めざす子ども像

- | | |
|----------------|-----------------|
| ・げんきよくあいさつをする子 | ・じぶんのことはじぶんでする子 |
| ・みんなとなかよくする子 | ・さいごまでがんばる子 |

(2) 教育課程の編成方針

- ① 本校の教育課程編成方針に基づき、児童の実態に即して教育内容を精選し、弾力的に編成する。
- ② 児童の実態に応じて、Ⅰ～Ⅳ類型の4つの教育課程を編成する。
- ③ Ⅰ類型は、小学校の当該学年に準じた教育内容に自立活動を加えて編成（Ⅰ類型－1）し、障害の状態により当該学年の学習が困難な児童は下学年代替とし、原則として当該学部終了までに当該学部の全教科の内容が終了できるように編成（Ⅰ類型－2）する。
- ④ Ⅱ類型は、児童の実態や発達段階に即して、教科別、領域別、各教科等を合わせた指導を適切に配当し編成する。その内、各教科等を合わせた指導を中心にしながら各教科（国、算、音、体）及び自立活動の教科別、領域別の指導で編成する類型（Ⅱ類型－1）、各教科等を合わせた指導を中心にしながら各教科（音、体）及び自立活動の教科別、領域別の指導で編成する類型（Ⅱ類型－2）、各教科等を合わせた指導及び自立活動の教科別、領域別の指導で編成する類型（Ⅱ類型－3）の3つの類型で編成する。
- ⑤ Ⅲ類型は、児童の実態や発達段階に即して、自立活動を中心に編成する。
- ⑥ Ⅳ類型（訪問教育）は、個々の児童の実態や発達段階に即して、原則として自立活動を主として編成する。

(3) 各教科、各領域の指導の重点

【Ⅰ類型】

① 各教科

ア 国語

- (ア) 国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成する。
- (イ) 伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養う。

イ 社会

- (ア) 社会生活についての理解を図る。
- (イ) 身近な社会生活に関心をもち、それを通して社会の仕組みについて理解を深める。
- (ウ) 我が国の国土と歴史についての関心と理解を深める。

ウ 算数

- (ア) 算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。
- (イ) 日常の事象について見通しを持ち、筋道を立てて考え、表現する能力を育てる。
- (ウ) 算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

エ 理科

- (ア) 自然に親しみ、見通しをもって観察・実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる。
- (イ) 自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。

オ 生活

- (ア) 具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持たせる。
- (イ) 生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う。

カ 音楽

- (ア) 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

キ 図画工作

- (ア) 表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくり出す喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

ク 家庭

- (ア) 衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける。
- (イ) 家庭生活への関心を高め、家族の一員として家族と協力しながら家庭生活をよりよくしようとする態度を育てる。

ケ 体育

- (ア) 適切な運動と健康・安全についての理解を通して、運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる。
- (イ) 健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

② 道徳科

- (ア) 自分でできることは自ら取り組み、良いこと悪いことをよく考えて行動する態度を育てる。
- (イ) 友達と仲良くし、助け合う心を育てる。
- (ウ) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。
- (エ) 約束やきまりを守り、集団生活において与えられた仕事を最後までがんばる気持ちを育てる。

③ 特別活動

- (ア) 望ましい集団活動を通して、みんなと仲良くする態度を育てる。
- (イ) 望ましい集団活動を通して、みんなと助け合う態度を育てる。
- (ウ) 望ましい集団活動を通して、みんなとよりよい学校生活を築こうとする態度を育てる。

④ 自立活動

- (ア) 個々の児童の発達段階や障害の特性による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする力を育て、心身の調和的発達の基盤を培う。

⑤ 総合的な学習の時間

- (ア) 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。

- (イ) 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。
- (ウ) なりたい自分を見付け、よりよく生きようとする態度を養う。

⑥ 外国語活動

- (ア) 外国語を通じて、言語や文化について興味・関心を広げ、体験的に理解を深める。
- (イ) 外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

※ 児童の障害の状態や特性等を十分考慮し、指導の重点を配慮する。

【Ⅱ類型以降の類型】

① 各教科

ア 生活

- (ア) 日常生活に必要な身辺処理、集団への参加を教師と一緒にやり、身近な社会や自然の様子に興味・関心をもたせる。
- (イ) 日常生活に必要な身辺処理の知識、技能及び態度を育て、集団参加ができるように支援し、身近な社会や自然の様子に興味・関心を深めるようにする。
- (ウ) 日常生活に必要な簡単なきまりが分かり、それらを守って行動し、身近な社会や自然の特徴や変化に気づかせる。
- (エ) 日常生活でのおよその予定が分かり、見通しをもって行動し、身近な社会や自然の特徴、変化の様子を知ることができるようにする。

イ 国語

- (ア) 他者（教師・友だち・身近な人）とのやりとりや発達段階に応じた読書活動を通して、ことばに興味・関心を持たせる。
- (イ) 見たり聞いたりしたことを、自分にできる方法で表現しようとする意欲や態度を育てる。
- (ウ) 日常生活に必要な語句や短い文を読み書きし、伝えたいことを自分にできる方法で表現する能力を育てる。

ウ 算数

- (ア) 身近にあるものの数量や図形に興味・関心をもたせる。
- (イ) 具体物の操作活動を通して、数量や図形を比較することができるようにする。
- (ウ) 簡単な計算や基本的な図形を理解させ、時計や暦に関心をもたせる。

エ 音楽

- (ア) 音楽を聴いて情緒の安定を図ると共に、音の出るおもちゃや打楽器でいろいろな音を鳴らして楽しむことができるようにする。
- (イ) 簡単なリズムの特徴を感じとって、身体表現・打楽器のリズム遊びや合奏・旋律の一部分の歌唱や演奏などの楽しさを味わわせる。
- (ウ) 互いの歌や演奏などを聴き、音楽を合わせた身体表現、リズム合奏、歌唱などの楽しさや美しさを味わわせる。

オ 図画工作

- (ア) 土、木、紙などの身近な材料をもとに、かいたり、つくったり、作品を飾ったりすることに関心をもたせる。
- (イ) 粘土、クレヨン、はさみ、のりなどの身近な材料や用具を使いながら、見たことや感じたことを絵にかいたり、つくったり、それを飾ったりするなどの活動に親しませる。
- (ウ) いろいろな材料や用具を工夫して用い、かいたり、つくったり、飾ったり、使ったりする活動を楽しむとともに、互いの作品の表現方法やその面白さに気づかせるようにする。

カ 体育

- (ア) 自分にできる方法で手足を動かし、歩く、走るなどの基本的な運動を経験させ、健康の保持増進を図りながら、運動遊びの楽しさを味わわせる。
- (イ) 身体の特徴に応じて基本的な運動に慣れ親しみ、体力の向上を図りながら、簡単な合図や指示に従って、いろいろな運動を楽しむ態度を育てる。
- (ウ) 身体の特徴に応じた基本的な運動やいろいろな運動を通して、体力の向上を図りながら、きまりを守り、友達と協力して安全に運動をする態度を育てる。

② 各領域

ア 道徳科

- (ア) 自分でできることは自ら取り組み、良いこと悪いことをよく考えて行動する態度を養う。
- (イ) 友達と仲良くし、助け合う心を育てる。
- (ウ) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する態度を育てる。
- (エ) 約束やきまりを守り、集団生活において与えられた仕事を最後までがんばる気持ちを育てる。

イ 特別活動

- (ア) 望ましい集団活動を通して、みんなと仲良くする態度を育てる。
- (イ) 望ましい集団活動を通して、みんなと助け合う態度を育てる。
- (ウ) 望ましい集団活動を通して、みんなとよりよい学校生活を築こうとする態度を育てる。

ウ 自立活動

- (ア) 個々の児童の発達段階や障害の特性による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする力を育てる。

③ 各教科等を合わせた指導

ア 日常生活の指導

- (ア) 生活リズムを整え、健康で充実した生活を送ることができるようにする。
- (イ) 学校生活の流れに沿って、基本的な生活習慣の形成を図る。
- (ウ) 基本的な生活習慣の定着を図り、日常生活や社会生活において、あいさつをする、きまりを守るなどの基本的な態度を育てる。

イ 遊びの指導

- (ア) いろいろな遊びを通して遊ぶ楽しさを味わわせることにより、情緒の安定を図り、豊かな感情を育てる。
- (イ) 身体活動を活発にする遊びを多く取り入れ、興味・関心を引き出し活動への意欲を育てる。
- (ウ) 集団での遊びを通して経験を広げ、自発的な行動を促し、望ましい対人関係を築く力を養う。

ウ 生活単元学習

- (ア) 児童が興味・関心をもつ身近な題材を通して、生活上の望ましい習慣や態度を養う。
- (イ) 生活に即した学習活動に共同して取り組む楽しさを味わわせる。
- (ウ) 生活上の課題に沿った学習活動に繰り返し取り組むことによって見通しをもち、主体的に活動できる力を育てる。

(4) 交流及び共同学習の重点

- ① 他校の児童や地域の人々などと活動を共にする機会を設定し、学校生活をより豊かにする。
- ② 経験を広めて積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性をはぐくむ。

(5) 生徒指導の重点

- ① 学校生活全般を通して、望ましい生活習慣の形成に努める。

- ② 学部間や寄宿舎、家庭及び他機関等との連携を密にして、児童一人一人が心身ともに安定し、充実した学校生活を送ることができるようにする。

(6) 安全教育の重点

- ① 危険な事物、場所について知らせ、安全な行動がとれるようにする。
- ② 健康の保持増進を図るため、家庭や地域社会との連携を図り、発達の段階や障害の状態などを考慮した集団・個別指導の充実を図る。

(7) キャリア教育の重点

- ① 将来の日常生活及び社会参加と自立に必要な基本的生活習慣の形成を図る。
- ② 家庭及び地域社会と連携し、生活経験の拡充を図る。

(8) 指導形態

① I 類型

- ア 教科、領域の指導を学年別に行うことを原則とするが、特別活動・道徳科の話し合い活動等や教科の学習内容によって、異学年・他類型合同で行うなど、集団構成を工夫する。
- イ 「総合的な学習の時間」においては、実施時期や実施時間、異学年合同学習など弾力的に展開できるよう工夫する。

② II 類型

- ア 学習グループの基本は学級・学年とするが、児童の実態や学習内容によって、異学年や他類型との合同学習など弾力的に展開できるよう工夫する。

③ III 類型

- ア 自立活動を主として、全人的な発達を促すために必要な内容を個々の実態に応じて設定し、個別の指導を重視するとともに、集団での指導も行う。
- イ 学習グループの基本は学級・学年とするが、児童の実態や学習内容によって、異学年や他類型との合同学習など弾力的に展開できるよう工夫する。

④ IV 類型

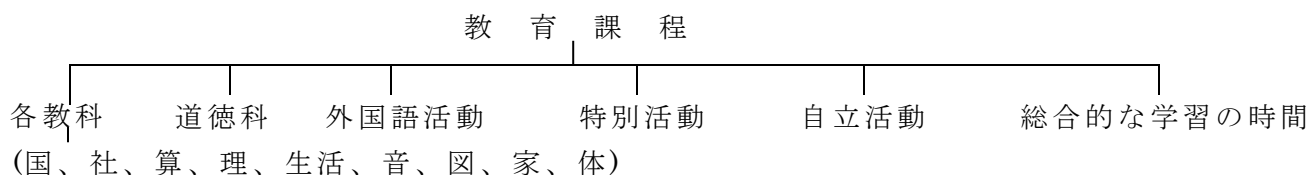
- ア 個々の児童の実態に即した個別指導を主とし、児童の心身の状態を考慮しながらスクーリングを行い、通学児童との交流を計画する。

⑤ 各類型共通

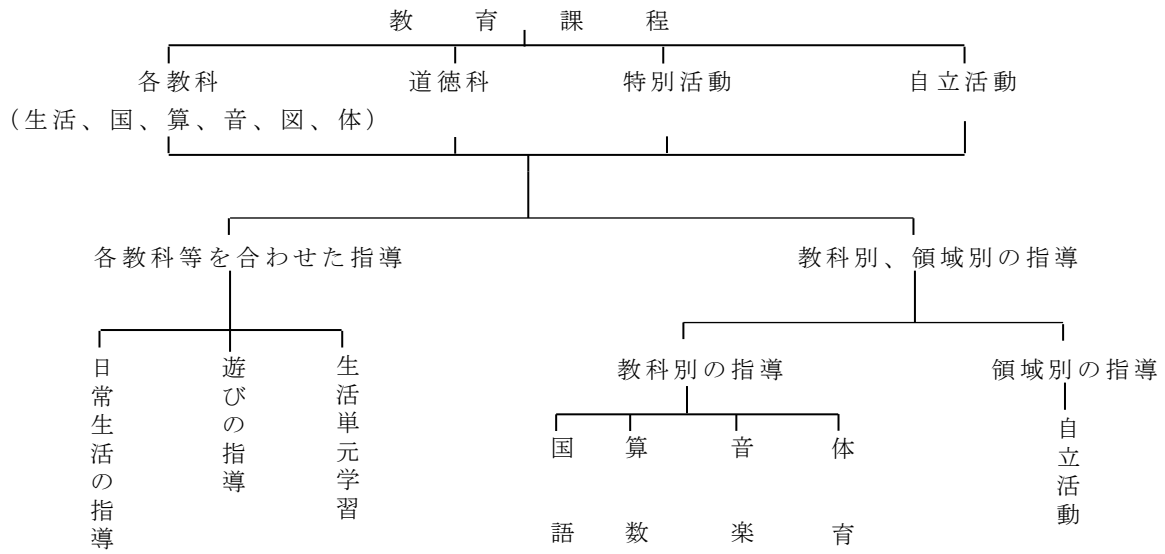
- ア 自立活動の指導は、学校の教育活動全体を通して行い、児童の実態やニーズ、発達段階等を踏まえ個別や異学年、他類型との合同学習など弾力的に展開できるように工夫する。
- イ 全学年及び隣学年や複数学年を含め、週の中で数回程度、同一の自立活動の時間を設定し、弾力的に展開できるよう工夫する。

教育課程の構造図

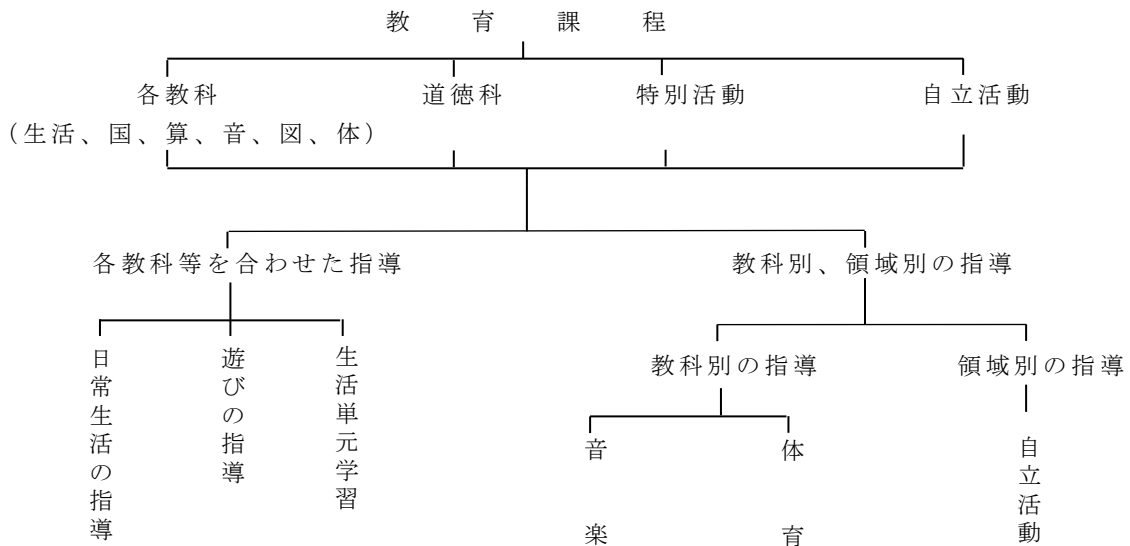
I 類型－1（準ずる教育）、I 類型－2（下学年代替）



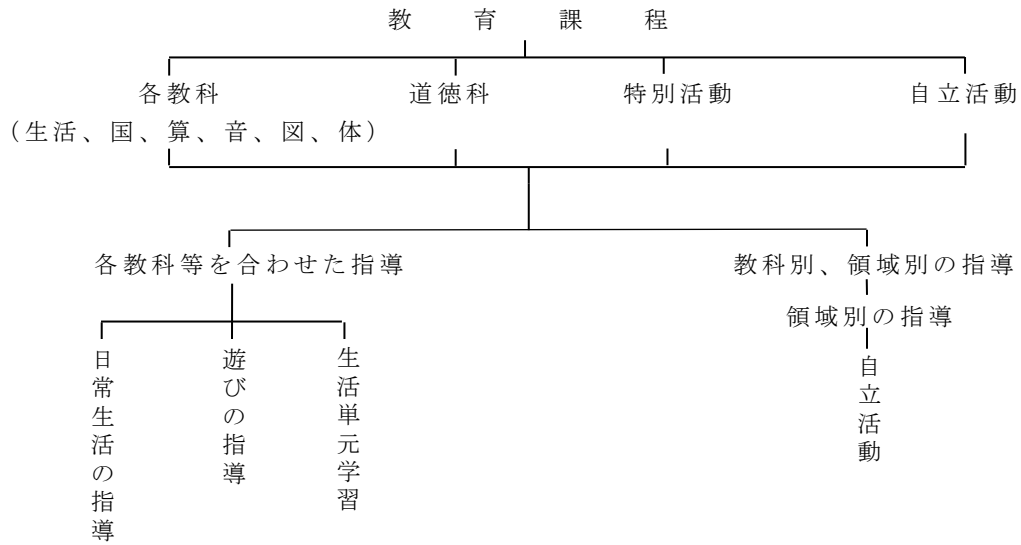
II 類型－1（知的代替）



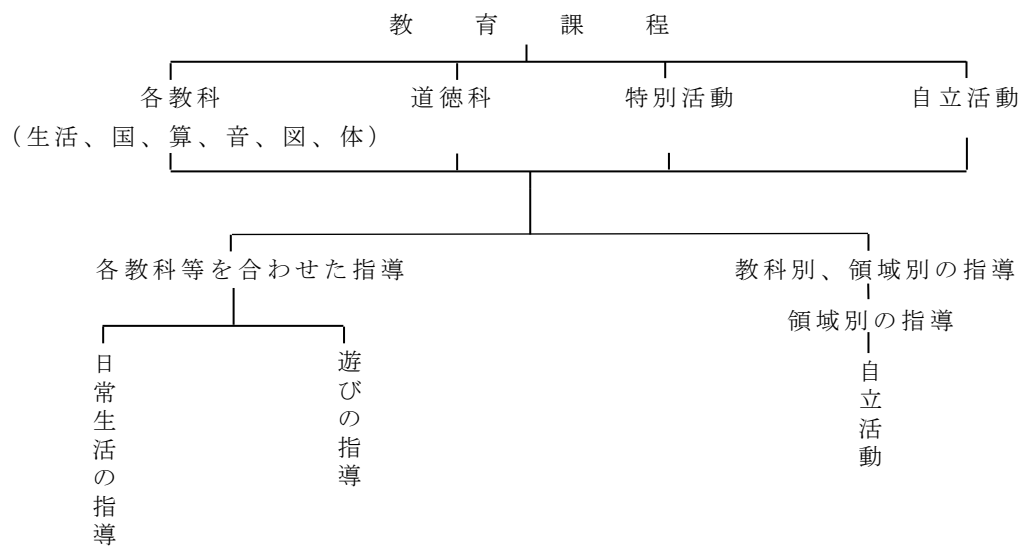
II 類型－2（知的代替）



II 類型—3 (知的代替)



III 類型 (自立活動中心)



IV類型（訪問教育）

